

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)

【公開番号】特開 2010-234586 (P2010-234586A)

【公開日】平成 22 年 10 月 21 日 (2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2010-042

【出願番号】特願 2009-83711 (P2009-83711)

【国際特許分類】

B 4 1 N 1/14 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

【F I】

B 4 1 N 1/14

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/027 5 1 3

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/11 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 9 日 (2011.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

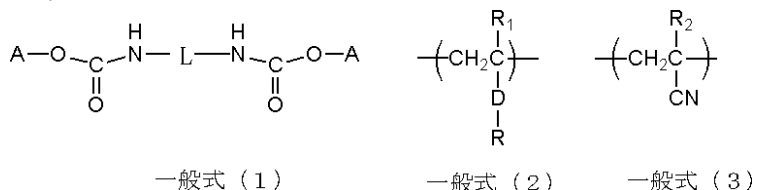
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体上に、(A) 一般式 (1) で表される重合性化合物、(B) 一般式 (2) で表される構造単位と一般式 (3) で表される構造単位とを含有するポリマー微粒子、(C) 赤外線吸収剤、及び (D) 重合開始剤を含有し、印刷インキ、湿し水またはこれらの両方により除去することができる画像記録層、ならびに、オーバーコート層をこの順に有することを特徴とする平版印刷版原版。

【化 1】



式中 A は 1 ~ 3 個のエチレン性不飽和基を含有する基を表す。L は炭素数 5 ~ 9 のアルキレンを表す。R は炭素原子数 1 ~ 12 のアルキル基、アリール基またはアラルキル基を表す。D は単結合または -COO- 基を表す。R₁ および R₂ はそれぞれ独立に水素原子またはメチル基を表す。

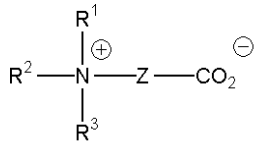
【請求項 2】

オーバーコート層が無機層状化合物を含有することを特徴とする請求項 1 記載の平版印刷版原版。

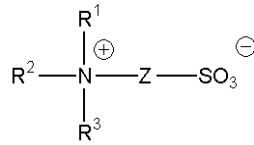
【請求項 3】

前記画像記録層に下記一般式（Ⅰ）で表されるベタイン化合物および（Ⅱ）で表されるベタイン化合物のうちの少なくともいずれかを含有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の平版印刷版原版。

【化 2】



一般式（Ⅰ）



一般式（Ⅱ）

一般式（Ⅰ）及び（Ⅱ）中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^3$ はそれぞれ独立に炭素原子数 1 ～ 5 のアルキル基、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキル基またはアリール基を表す。これらの基は、ヒドロキシ基またはアミノ基で置換されていてもよい。Z は炭素原子数 1 ～ 4 のアルキレン基を表し、炭素原子数 4 以下のアルキル基またはヒドロキシ基で置換されていてもよい。 $\text{R}^1 \sim \text{R}^3$ 及び Z の少なくとも 2 つが結合して複素環を形成してもよい。

【請求項 4】

支持体上に、基板吸着性基及び重合性基を有する高分子化合物を含有する下塗り層を、支持体と画像記録層の間に有することを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版を、印刷機に装着した後に赤外線レーザーで画像露光し、または、赤外線レーザーで画像露光した後に印刷機に装着し、次いで、印刷インキ、湿し水またはこれらの両方を供給して画像記録層の赤外線未露光部を除去する製版方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

2．オーバーコート層に無機層状化合物を含有することを特徴とする前記 1 記載の平版印刷版原版。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

3．前記画像記録層に下記一般式（Ⅰ）で表されるベタイン化合物および（Ⅱ）で表されるベタイン化合物のうちの少なくともいずれかを含有することを特徴とする前記 1 又は 2 に記載の平版印刷版原版。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

一般式（Ⅰ）及び（Ⅱ）中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^3$ はそれぞれ独立に炭素原子数 1 ～ 5 のアルキル基、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキル基またはアリール基を表す。これらの基は、ヒドロキシ基またはアミノ基で置換されていてもよい。Z は炭素原子数 1 ～ 4 のア

ルキレン基を表し、炭素原子数 4 以下のアルキル基またはヒドロキシ基で置換されていてもよい。 $R^1 \sim R^3$ 及び Z の少なくとも 2 つが結合して複素環を形成してもよい。

4．支持体上に、基板吸着性基及び重合性基を有する高分子化合物を含有する下塗り層を、支持体と画像記録層の間に有することを特徴とする前記 1 ～ 3 のいずれかに記載の平版印刷版原版。